

## 地球温暖化対策実施状況報告書

2023年 7月 31日

（提出先）  
横浜市長

住所 神奈川県横浜市中区本町6丁目50番地の10

氏名 横浜市  
市長 山中 竹春

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり提出します。

### 1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の名称 及び代表者の氏名	横浜市 市長 山中 竹春		
主たる事業所の所在地	神奈川県横浜市中区本町6丁目50番地の10		
主たる事業の業種	大分類	S 公務（他に分類されるものを除く）	
	中分類	98 地方公務	
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 条例施行規則第89条第1項第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 条例施行規則第89条第1項第2号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 条例施行規則第89条第1項第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 条例第144条の4該当事業者（任意提出事業者）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	原油換算エネルギー使用量	117,812 kl	市内全事業所数
		原油換算エネルギー使用量が500kl以上の事業所数	34 事業所
自動車の台数	1,823 台		

### 2 計画期間及び実施年度

計画期間	2022年度～2024年度	実施年度	2022年度
------	---------------	------	--------

### 3 公表の方法

<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ	アドレス	<a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/ondanka/etc/shiyakusho/keikakushokouhyou.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/ondanka/etc/shiyakusho/keikakushokouhyou.html</a>	
<input type="checkbox"/> 窓口で閲覧	閲覧場所		
	所在地		
	閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> その他			

4の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

	特定温室効果ガス排出量		削減率	原単位	
	基礎	調整後		t-CO <sub>2</sub> /	
基準年度 (2021年度)	基礎	192,636 t-CO <sub>2</sub>			
	調整後	238,860 t-CO <sub>2</sub>			
目標年度 (2024年度)	基礎	183,559 t-CO <sub>2</sub>	4.7 %	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	224,221 t-CO <sub>2</sub>	6.1 %	削減率	%
第一年度 (2022年度)	基礎	214,531 t-CO <sub>2</sub>	▲ 11.4 %	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	190,953 t-CO <sub>2</sub>	20.1 %	削減率	%
第二年度 (2023年度)	基礎	t-CO <sub>2</sub>	%	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	t-CO <sub>2</sub>	%	削減率	%
第三年度 (2024年度)	基礎	t-CO <sub>2</sub>	%	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	t-CO <sub>2</sub>	%	削減率	%
目標の進捗及び 達成状況の説明 (2022年度)	達成状況	<input type="radio"/> 目標を上回った <input checked="" type="radio"/> おおむね目標通り <input type="radio"/> 目標を下回った			
	要因	省エネ取組	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		
		事業活動量	<input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> ほぼ変動無し <input type="radio"/> 減		
	自由記述欄	LED等高効率照明の導入やESCO事業の継続実施等、省エネの取組を行い、エネルギー使用量を削減することができた。使用する電力会社の排出係数が悪化したことにより、基礎排出量は増加したが、再エネ電力等への切り替え等により、調整後排出量を大幅に削減することができた			

4の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

	特定温室効果ガス排出量		削減率	原単位	
	基礎	調整後		t-CO <sub>2</sub> /	
基準年度 (2021年度)	基礎	8,321 t-CO <sub>2</sub>			
	調整後	8,321 t-CO <sub>2</sub>			
目標年度 (2024年度)	基礎	8,238 t-CO <sub>2</sub>	1.0 %	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	8,238 t-CO <sub>2</sub>	1.0 %	削減率	%
第一年度 (2022年度)	基礎	8,604 t-CO <sub>2</sub>	▲ 3.4 %	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	8,604 t-CO <sub>2</sub>	▲ 3.4 %	削減率	%
第二年度 (2023年度)	基礎	t-CO <sub>2</sub>	%	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	t-CO <sub>2</sub>	%	削減率	%
第三年度 (2024年度)	基礎	t-CO <sub>2</sub>	%	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	t-CO <sub>2</sub>	%	削減率	%
目標の進捗及び 達成状況の説明 (2022年度)	達成状況	<input type="radio"/> 目標を上回った <input type="radio"/> おおむね目標通り <input checked="" type="radio"/> 目標を下回った			
	要因	省エネ取組	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		
		事業活動量	<input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> ほぼ変動無し <input type="radio"/> 減		
	自由記述欄	次世代自動車の導入やエコドライブの徹底等により、燃料使用量の抑制に努めた。一方で、救急出場件数が大幅に増加したことで、全体としては温室効果ガス排出量は増加した。			

5 クレジットに関する取組状況

番号	クレジットの名称	特定温室効果ガス削減相当量 [t-CO <sub>2</sub> ]	オフセット対象範囲
1	非化石証書	10,103	横浜市役所新庁舎及び区庁舎
2			
3			
4			
5			

6 再生可能エネルギー利用設備の稼働状況

番号	設備機器の種類	導入年度	設備機器の性能	発電等の実績	単位
1	太陽光発電	1995年度	89か所、総発電容量1,651kW	年間発電量：約134万	kWh
2	太陽熱利用	1980年度	14か所		
3	風力発電	2006年度	1か所、総発電容量1,980kW	年間発電量：約223万	kWh
4	バイオマス	2009年度	汚泥消化ガス発電：2か所、総発電容量8,100kW	年間発電量：約5,286万	kWh
5	バイオマス	1984年度	廃棄物発電：4か所、総発電容量79,000kW	年間発電量：約338,931万	kWh

7 次世代自動車の導入状況

次世代自動車の種別	電気自動車	プラグイン ハイブリッド車	燃料電池自動車	合計
導入台数[台]	5	3	1	9
保有台数[台]	41	19	23	83

8の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）（その1）

重点対策	対策の内容	対象設備	対策状況		備考
			①管理基準等の設定状況	②実施状況	
1 推進体制の整備	① 本社等が中心となり、支店等と連携して、地球温暖化対策を推進する管理体制を整備している。 ② ①の体制に基づき、定期的に地球温暖化対策に関する計画立案、進捗確認等の会議等を実施している。		<input checked="" type="radio"/> 整備済 <input type="radio"/> 一部整備済 <input type="radio"/> 未整備 <input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
2 エネルギー使用量の把握	① エネルギー種類別（電力、ガス、蒸気、圧縮空気等）の使用量の記録、保管等についての管理基準を設定している。 ② ①の情報を元に、現状把握、過去との比較検証を実施している。		<input checked="" type="radio"/> 設定済 <input type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
3 事務用機器の管理	① 事務用機器（パーソナルコンピュータ、プリンタ、コピー機、ファクシミリ等）の待機電力削減の取組、省エネモード設定等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	事務用機器	<input checked="" type="radio"/> 設定済 <input type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
4 受変電設備の力率の管理	① 受電端における力率は、95パーセント以上とすることを基準として進相コンデンサ等を制御するように管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	受変電設備	<input checked="" type="radio"/> 設定済 <input type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
5 照明設備の管理	① 事業活動に適した点灯時間、点灯エリア、照度等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	年間2,000時間以上点灯する照明設備	<input type="radio"/> 設定済 <input checked="" type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input type="radio"/> 実施済 <input checked="" type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
6 空調設備の管理	① 空調を施す区画を限定し、外気条件変動等に応じた設備の運転時間、室温、湿度等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	空調設備	<input type="radio"/> 設定済 <input checked="" type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input type="radio"/> 実施済 <input checked="" type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
7 空調用冷凍機の管理	① 外気条件変動等に応じた冷却水温度や圧力等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	空調用冷凍機	<input type="radio"/> 設定済 <input checked="" type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input type="radio"/> 実施済 <input checked="" type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
8 換気設備の管理	① 換気を施す区画を限定し、外気条件変動等に応じた換気量、運転時間等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	換気設備	<input type="radio"/> 設定済 <input checked="" type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input type="radio"/> 実施済 <input checked="" type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
9 フィルターの清掃	① 空調設備、換気設備のフィルターの点検、清掃についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	空調設備 換気設備	<input type="radio"/> 設定済 <input checked="" type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
10 ボイラーの管理	① 過剰な蒸気の供給及び燃料の供給をなくし適正に運転するため、蒸気の圧力、温度及び運転時間についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	ボイラー	<input type="radio"/> 設定済 <input checked="" type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input type="radio"/> 実施済 <input checked="" type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	

8の1 重点対策の実施状況及び計画（第1号及び第2号該当事業者）（その2）

重点対策	対策の内容	対象設備	対策状況		備考
			①管理基準等の設定状況	②実施状況	
11 蒸気配管等の管理	① ボイラー設備の配管、バルブ等の保温及び断熱の維持、蒸気の漏えい、詰まりの防止等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	ボイラー	<input type="radio"/> 設定済 <input checked="" type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input type="radio"/> 実施済 <input checked="" type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
12 燃焼設備の空気比管理	① 燃焼設備及び使用する燃料の種類に応じて、排出ガスにおける空気比の値が基準空気比※以下になるような、空気比についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	ボイラー 工業炉	<input type="radio"/> 設定済 <input checked="" type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input type="radio"/> 実施済 <input checked="" type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
13 ポンプ、ファン、ブロワー及びコンプレッサの負荷に応じた運転管理	① 使用端圧力及び吐出量を把握し、負荷に応じた運転台数制御、回転数制御等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	ポンプ ファン ブロワー コンプレッサ	<input type="radio"/> 設定済 <input checked="" type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input type="radio"/> 実施済 <input checked="" type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	

※ 基準空気比とは、工場等におけるエネルギーの使用の合理化に関する事業者の判断の基準（平成21年経済産業省告示第66号）の別表第1（A）に規定するものをいう。

8の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	対策の内容	対策状況		備考
		①管理基準等の設定状況	②実施状況	
14 推進体制の整備	① 本社等が中心となり、支店等と連携して、地球温暖化対策を推進する管理体制を整備している。 ② ①の体制に基づき、定期的に地球温暖化対策に関する計画立案、進捗確認等の会議等を実施している。	<input checked="" type="radio"/> 整備済 <input type="radio"/> 一部整備済 <input type="radio"/> 未整備 <input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
15 自動車の適正な使用管理	① 目的地までの燃料消費量、所要時間等を考慮した効率的な走行ルート等の情報を運転者に伝える仕組みを整備している。 ② ①の仕組みを活用した運用を実施している。	<input checked="" type="radio"/> 整備済 <input type="radio"/> 一部整備済 <input type="radio"/> 未整備 <input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
16 エネルギー使用量等に関するデータの管理	① 自動車ごとの走行距離、エネルギー消費量等のデータの定期的な記録等についての管理基準を設定している。 ② ①の情報を活用した運用を実施している。	<input checked="" type="radio"/> 設定済 <input type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
17 エコドライブ推進体制の整備	① エコドライブ推進に関する責任者を設置し、エコドライブの実施及びエコドライブ講習等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	<input checked="" type="radio"/> 設定済 <input type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
18 自動車の適正な維持管理	① 日常の点検・整備に係る責任者を設置し、点検、整備及び点検・整備に必要な知識や技術を習得するための研修等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	<input checked="" type="radio"/> 設定済 <input type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

9 自主的な温室効果ガス排出削減対策の実施状況

実施年度に効果が得られた対策<sup>\*</sup>の削減量を記載（計画期間中に導入または稼働を開始したものに限る）

<sup>\*</sup> 設備の更新、運用改善、排出係数の低いエネルギー源への変更、低炭素電気への切替えなど

事業者総排出量 [t-CO <sub>2</sub> ]	削減量合計 [t-CO <sub>2</sub> ]	削減量合計 総排出量
214,531	129	0.06 %

番号	導入/稼働 年度	対策分類	設備分類	具体的な対策	削減量 [t-CO <sub>2</sub> ]
1	2022	その他	照明設備	既存照明設備のLED化（寿生活館、久保山斎場） LED照明への更新工事を実施し、電気使用量の削減を図った。	128.7
2					
3					
4					
5					

## 10 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

（実施年度に行った対策にチェックし、補足説明は下部に記載）

<input checked="" type="checkbox"/>	水道及び工業用水道の使用量削減に係る対策
<input checked="" type="checkbox"/>	廃棄物の排出量の把握及び削減に係る対策
<input checked="" type="checkbox"/>	貨物等の運搬等のために他者の自動車を利用している場合の対策
<input checked="" type="checkbox"/>	従業員の自動車利用から公共交通機関への誘導策等、公共交通機関の利用促進に関する対策
<input checked="" type="checkbox"/>	地域における環境教育の実践
<input checked="" type="checkbox"/>	市域の緑地保全に関する取組
<input checked="" type="checkbox"/>	省エネ型商品又はサービスの開発等、事業活動の特性を活かした対策
<input type="checkbox"/>	その他地球温暖化の防止に係る対策（エネルギーを使用しないもの）

## 11 特記事項

横浜市役所では、「横浜市地球温暖化対策実行計画（市役所編）」に基づき、市役所の事務・事業から排出する温室効果ガスを2030年度に2013年度比で50%削減することを目標に取組を進めている。引き続き、公共施設におけるLED等高効率照明の導入や太陽光発電設備等の設置、使用する電力のグリーン化促進、次世代自動車等の導入などの取組を推進し、更なる温室効果ガス排出削減につなげていく。

--

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	神奈川水再生センター						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市神奈川区千若町1丁目1						
延床面積	49,045	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	7,775	k l	事業所等の区分	上水道・下水道施設
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位		
実施年度 （2022年度）	14,412 t-CO <sub>2</sub>	172.90	t-CO <sub>2</sub> /	百万m <sup>3</sup>
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	電力会社の変更に伴い、排出係数が増加したため、排出量が増加した。			

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	港北水再生センター						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市港北区大倉山7-40-1						
延床面積	34,643	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	5,646	k l	事業所等の区分	上水道・下水道施設
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合のみ、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位		
実施年度 （2022年度）	10,454 t-CO <sub>2</sub>	147.72	t-CO <sub>2</sub> /	百万m <sup>3</sup>
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	排出係数が増加したため、排出量が増加した。			

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	金沢水再生センター						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市金沢区幸浦一丁目17						
延床面積	37,301	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	5,309	k l	事業所等の区分	上水道・下水道施設
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位
実施年度 （2022年度）	9,817 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub> /
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	電力排出係数のよい電力会社へ切り替えたことにより、排出量が減少した。	

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	栄第二水再生センター						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市栄区长沼町82						
延床面積	37,720	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	4,901	k l	事業所等の区分	上水道・下水道施設
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位	
実施年度 （2022年度）	9,067 t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub> /
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	使用量は減少したが、2021年度と電力会社に変更となり、排出量は増加した。		

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	都筑水再生センター						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市都筑区佐江戸町25						
延床面積	44,965	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	4,852	k l	事業所等の区分	上水道・下水道施設
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位	
実施年度 （2022年度）	8,956 t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub> /
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	・2021年度に対し電力量は4.8%削減したが、電力会社に変更になり、排出量が増加した。		

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	北部第一水再生センター						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市鶴見区元宮二丁目6-1						
延床面積	46,973	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	3,391	k l	事業所等の区分	上水道・下水道施設
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位
実施年度 （2022年度）	6,350 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub> /
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	電力会社の変更により排出係数が変わり、排出量が増加した。	

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	南部水再生センター						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市磯子区新磯子町39						
延床面積	11,892	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	2,439	k l	事業所等の区分	上水道・下水道施設
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合のみ、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位
実施年度 （2022年度）	4,462 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub> /
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	2022年度は局地的大雨や台風等による影響で流入下水量、流入水質が安定せず、汚水ポンプ、送風機の運転時間が増加したため温室効果ガス排出量が増加した。	

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	中部水再生センター						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市中区本牧十二天1-1						
延床面積	47,201	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	2,273	kl	事業所等の区分	上水道・下水道施設
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位
実施年度 （2022年度）	4,243 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub> /
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	原油換算エネルギー使用量は、微増となっていますが、昨年的高级処理水に対する効率が上がったことに対し、今年度はプロワの運転（電力量）が上がってしまったことがあげられます。水再生センターの負荷は大きいので、目標達成には設備更新等が望まれます。	

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	南部汚泥資源化センター						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市金沢区幸浦一丁目9						
延床面積	46,496	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	2,256	k l	事業所等の区分	上水道・下水道施設
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位		
実施年度 （2022年度）	4,065 t-CO <sub>2</sub>	189.67	t-CO <sub>2</sub> /	千DS t
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	基準年度（2021年度）からの排出量削減率は13.2%増、原単位18.7%増となった。基準年度と電力会社は同じだが、「温室効果ガス排出量の計算に使用する電力の排出係数」が2.13倍へ増えたため、排出量が増加した。受泥量が基準年度に比べ1.03倍と微増であることも起因している。			

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	横浜市役所新庁舎						
事業所等の所在地	神奈川県中区本町6丁目50番地の10						
延床面積	142,582	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	2,164	kl	事業所等の区分	事務所
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位
実施年度 （2022年度）	3,733 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub> /
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	照明設備や空調設備の運用を見直すなど、省エネ対策に取り組み、排出量の削減につながった。	

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	西部水再生センター						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市戸塚区東俣野町231						
延床面積	27,415	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	2,069	k l	事業所等の区分	上水道・下水道施設
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位
実施年度 （2022年度）	3,838 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub> /
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	2021年度と電力会社に変更になり、排出量が増加した。	

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	栄第一水再生センター						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市栄区小菅ケ谷二丁目5-1						
延床面積	26,947	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	1,971	k l	事業所等の区分	上水道・下水道施設
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合のみ、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位	
実施年度 （2022年度）	3,636 t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub> /
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	使用量は減少したが、2021年度と電力会社に変更となり、排出量は増加した。		

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	横浜国際プール					
事業所等の所在地	神奈川県横浜市都筑区北山田七丁目3-1					
延床面積	35,877	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	1,939	k l	事業所等の区分 その他
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）		

――― 以下は市内全事業所が1事業所の場合、省略可能です。―――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位		
実施年度 （2022年度）	3,292	t-CO <sub>2</sub>	91.11	t-CO <sub>2</sub> / 千m <sup>2</sup>
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	「横浜市地球温暖化対策実行計画（市役所編）」の削減目標である「対前年度比エネルギー消費量を年平均1%以上削減すること」を踏まえ、2021年度より省エネルギー化を毎年1%ずつ削減することを目標としている。2022年度については目標を達成した。これはESCOによる照明LED化が影響しているものと思われる。今後も、照明点灯時間や空調運転時間の調整などに取り組んで行く。			

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	日産スタジアム						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市港北区小机町3300						
延床面積	172,758	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	1,829	k l	事業所等の区分	その他
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

――― 以下は市内全事業所が1事業所のみの場合、省略可能です。 ―――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位		
実施年度 （2022年度）	3,372	t-CO <sub>2</sub>	7.02	t-CO <sub>2</sub> /日
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	コロナ禍による影響も落ち着き、自粛されていたコンサートも開催され、イベント数においても基準年と比較すると増えたが、特定温室効果ガス排出量、排出原単位が減少した。その要因としては主要施設のLED化などによる省エネ効果の影響と、厳冬期に温水プール施設の休業期間が延長されたことにより、プール昇温用熱源である都市ガスの消費量とプール濾過設備のポンプ停止による電力消費量は減少したことの二つの要因である。			

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	北部汚泥資源化センター						
事業所等の所在地	神奈川県鶴見区末広町一丁目6番地の1						
延床面積	40,003	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	1,775	kl	事業所等の区分	上水道・下水道施設
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

――― 以下は市内全事業所が1事業所の場合のみ、省略可能です。―――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位	
実施年度 （2022年度）	3,399 t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub> /
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	温室効果ガス排出量について、2022年度は2021年度比で19.6%増であった。これは主として、焼却新1号炉が稼働したことによる都市ガス使用量の増によるものと考えられる。		

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	北部斎場						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市緑区長津田町5125-1						
延床面積	20,015	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	1,741	kl	事業所等の区分	その他
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位		
実施年度 （2022年度）	3,009	t-CO <sub>2</sub>	234.78	t-CO <sub>2</sub> /千件
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	温室効果ガス排出の主要因である火葬業務において、南部斎場の1.5か月休場及び久保山斎場の2か月休場のため北部斎場の火葬件数が増加及び全体の火葬件数の増加となったが、電力排出係数のよい電力会社へ切り替えたことにより、排出量が減少した。			

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	新羽ポンプ場						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市港北区新羽町745						
延床面積	11,361	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	1,347	k l	事業所等の区分	上水道・下水道施設
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

――― 以下は市内全事業所が1事業所の場合、省略可能です。―――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位		
実施年度 （2022年度）	2,524 t-CO <sub>2</sub>	58.79	t-CO <sub>2</sub> /	百万m <sup>3</sup>
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	排出係数が増加したため、排出量が増加した。			

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	久保山斎場						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市西区元久保町3-1						
延床面積	7,921	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	1,212	kl	事業所等の区分	その他
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

――― 以下は市内全事業所が1事業所の場合、省略可能です。―――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位		
実施年度 （2022年度）	2,107	t-CO <sub>2</sub>	230.43	t-CO <sub>2</sub> /千件
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	温室効果ガス排出の主要因である火葬業務において、久保山斎場は2か月休場したが昨年と比べ火葬件数は増加となったが、電力排出係数のよい電力会社へ切り替えたことにより排出量が減少した。また、一部施設内の照明をLED化へ改修を実施したため、排出量が減少した。			

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	横浜動物の森公園						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市旭区上白根町1145-3						
延床面積	46,066	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	1,094	k l	事業所等の区分	その他
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合のみ、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位
実施年度 （2022年度）	2,068 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub> /
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	照明設備や空調設備の運用を見直すなど、省エネ対策の取り組みが排出量の削減につながった。	

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	南部斎場						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市金沢区みず木町1						
延床面積	5,800	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	1,082	k l	事業所等の区分	その他
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合のみ、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位		
実施年度 （2022年度）	1,843 t-CO <sub>2</sub>	247.02	t-CO <sub>2</sub> /	千件
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	温室効果ガス排出の主要因である火葬業務において、南部斎場は1.5か月休場のため火葬件数が減少となったため、排出量が減少した。			

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	パシフィコ横浜ノース						
事業所等の所在地	神奈川県西区みなとみらい一丁目1番2号						
延床面積	47,000	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	924	k l	事業所等の区分	その他
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合のみ、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位
実施年度 （2022年度）	1,637 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub> /
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	コロナの影響がなくなり、施設の稼働が多くなっているが温室効果ガス排出の抑制には努める。	

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	磯子中継ポンプ場						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市磯子区磯子二丁目29-19						
延床面積	8,226	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	885	k l	事業所等の区分	上水道・下水道施設
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合のみ、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位	
実施年度 （2022年度）	1,826 t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub> /
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	2022年度は局地的大雨や台風等による流入下水量の増加に伴い、雨水・汚水ポンプの運転時間が増加したため温室効果ガス排出量が増加した。		

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	北部第二水再生センター						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市鶴見区末広町一丁目6-8						
延床面積	57,940	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	837	kl	事業所等の区分	上水道・下水道施設
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位		
実施年度 （2022年度）	1,632 t-CO <sub>2</sub>	27.53	t-CO <sub>2</sub> /	百万m <sup>3</sup>
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	温室効果ガス排出量について、2022年度(1,629.11t-CO <sub>2</sub> )は2021年度(1,433t-CO <sub>2</sub> )比で13.7%増であった。これは主に、排出係数が0であるごみ発電を行う鶴見工場からの受電量の減、それに伴う電気事業者からの買電受電量の増によると考えられる。また、原単位についても2021年度で23.92t-CO <sub>2</sub> /百万m <sup>3</sup> に対し、2022年度は27.53t-CO <sub>2</sub> /百万m <sup>3</sup> であり、15.1%の増となっている。			

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市港北区鳥山町1752						
延床面積	14,421	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	830	kl	事業所等の区分	その他
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合のみ、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位
実施年度 （2022年度）	1,534 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub> /
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	2021年度はコロナ対策として上半期の営業時間が通常より1時間少ない状況であったとともに、2022年度は2021年度に比べて夏季(7月から9月)の気温が高くまた、冬季(1月から3月)の気温が低かったため、空調の設定温度を夏季に低く、冬季に高く設定したことにより、排出量が増加している。 2023年度以降はプールカーテンウォール及びメインアリーナ窓への遮熱フィルム貼り付けや照明のLED化等を進め、特定温室効果ガスの削減に努めていく。	

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	大さん橋国際客船ターミナル						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市中区海岸通り1-1						
延床面積	34,732	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	776	k l	事業所等の区分	その他
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位
実施年度 （2022年度）	1,384 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub> /
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	2022年度は、コロナ禍で停止していた客船寄港が再開し、設備運用時間が増加したため、エネルギー使用量が増加した。	

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	総合リハビリテーションセンター						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市港北区鳥山町1770						
延床面積	12,523	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	762	kl	事業所等の区分	その他
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位	
実施年度 （2022年度）	1,430 t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub> /
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	医療施設のため、空調および電気の使用制限が困難なスペースが多くあります。事務スペースについては電気の間引きや不要時の照明OFF、空調の抑制、事務機器の省電力モードなどを継続して取り組みました。しかしながら、感染症対策だけでなく、暑さによる空調使用量増加により、排出量は増加する結果となりました。		

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	クイーンズスクエア横浜 専有クイーンモール等						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目3						
延床面積	19,993	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	721	k l	事業所等の区分	商業施設
エネルギー管理権限	一部有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位	
実施年度 （2022年度）	1,252	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub> /
目標の進捗及び 達成状況の説明 （2022年度）	2022年夏季の電力需給ひっ迫による節電要請を受け、照明の間引き、空調の間引き運転や設定温度の見直し等、例年以上に踏み込んだ対策により電力や冷水の使用量が削減された。 また、冬季にも節電や節ガスの要請により同様の対策を行うことで、電力や蒸気の使用量が削減された。 以上の効果により、温室効果ガス排出量が減少した。		

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	総合保健医療センター						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市港北区鳥山町1735						
延床面積	14,025	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	711	kl	事業所等の区分	医療施設
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位		
実施年度 （2022年度）	1,275 t-CO <sub>2</sub>	90.05	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>2</sup>
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	・2022年度に冷温水発生機を2台更新したため、燃費が改善されガスの使用量が減少した。これにより原油換算エネルギー使用量も特定温室効果ガス排出量も減少させることができた。			

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	戸塚斎場						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市戸塚区鳥が丘10-5						
延床面積	4,981	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	695	k l	事業所等の区分	その他
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合のみ、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位		
実施年度 （2022年度）	1,462	t-CO <sub>2</sub>	263.28	t-CO <sub>2</sub> / 千件
目標の進捗及び 達成状況の説明 （2022年度）	温室効果ガス排出の主要因である火葬業務において、南部斎場の1.5か月休場及び久保山斎場の2か月休場のため戸塚斎場の火葬件数が増加及び全体の火葬件数の増加となったため、排出量が増加した。			

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	都筑区総合庁舎						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央32-1						
延床面積	21,317	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	589	k l	事業所等の区分	事務所
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合のみ、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位	
実施年度 （2022年度）	1,013 t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub> /
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	冷房・暖房等の空調設備に係るエネルギー消費量が大きな割合を占めている中で、コロナ対策として、窓を開けるなどの対応により、空調効率が悪くなったことから削減率が低下しました。今後は、照明のこまめな消灯及びエレベーターの使用を控えるための階段利用の促進を図ってまいります。		

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	スポーツ医科学センター						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市港北区小机町3302-5						
延床面積	12,300	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	522	kl	事業所等の区分	医療施設
エネルギー管理権限	無し		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合のみ、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位
実施年度 （2022年度）	963 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub> /
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	・2021年度は、コロナ禍のもと緊急事態宣言の影響で、開館時間帯が短縮されたり休館したりしたため、光熱水費も使用量も減少し、排出基準を下回った。2022年度はほぼ通常業務になったため、温室効果ガスの排出量が例年並みに戻った。	

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	北綱島中継ポンプ場						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市港北区日吉六丁目14-1						
延床面積	7,528	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	517	kl	事業所等の区分	上水道・下水道施設
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位	
実施年度 （2022年度）	984 t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub> /
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	電力会社の変更により排出係数が変わり、排出量が増加した。		

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	保土ヶ谷工場						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市保土ヶ谷区狩場町355						
延床面積	24,370	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	514	kl	事業所等の区分	廃棄物処理施設
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

――― 以下は市内全事業所が1事業所の場合、省略可能です。―――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位
実施年度 （2022年度）	914 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub> /
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	2022年度時点で特定温室効果ガス排出量の削減目標（2024年度目標）を達成できた。	

## 地球温暖化対策実施状況報告書

### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	鶴見工場						
事業所等の所在地	神奈川県横浜市鶴見区末広町1-15-1						
延床面積	42,660	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	507	k l	事業所等の区分	廃棄物処理施設
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）			

―― 以下は市内全事業所が1事業所の場合、省略可能です。――

### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

	特定温室効果ガス排出量（基礎）	原単位	
実施年度 （2022年度）	921 t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub> /
目標の進捗及び達成状況の説明 （2022年度）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年度と電力会社に変更になり、排出量が増加した。</li> <li>・蒸気タービン定期検査等整備工事を実施し、蒸気タービンの停止日数が例年より増加した。</li> </ul> そのため電力会社からの受電量が増加したことから、排出量が増加した。		